

活動実績報告書

令和3年4月9日

登録番号 2020782

氏 名 西岡 洋典

1. 活動状況

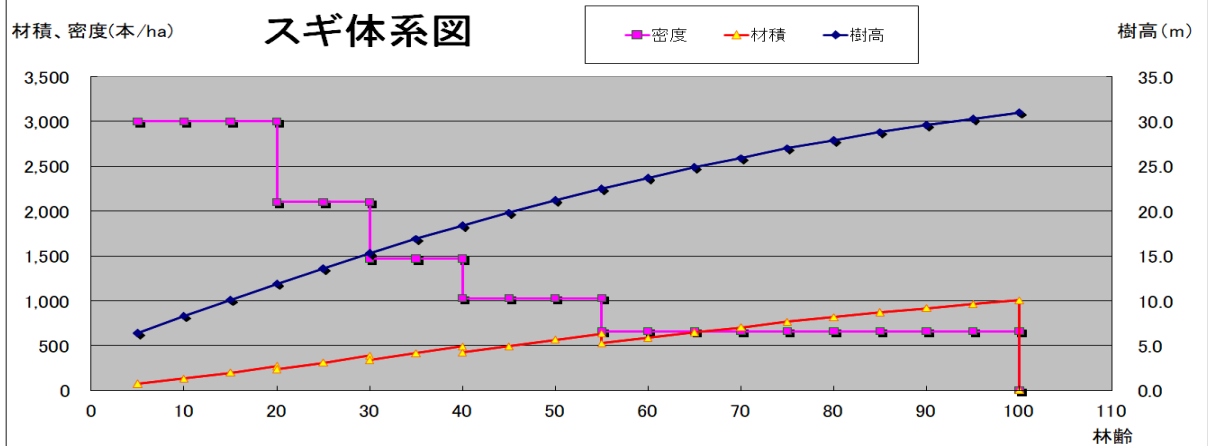
令和元年4月 ～ 実施中

- ・ 活動の概要
林業成長産業化の推進並びに県内木材産業の維持及び継続的な発展に必要な原木の将来に渡る確保に必要な伐採跡地への確実な再造林を地域の合意に基づき推進するため、市町村、森林組合、林業事業体、苗木生産者団体と連携し再造林推進活動を実施する。
- ・ 当該活動を挙げた理由
多くの人工林が利用可能な径級となり、木材の生産量や自給率が増加する中、再造林率の低迷は、林業成長産業化の推進並びに県内の森林、林業、木材産業の健全な発展には不安材料となっている。このため、県では森林所有者の再造林意欲を地域ぐるみで高揚させるべく費用の支援制度に加えて、再造林事業者の仲介、再造林後の収支プランの作成等を進めることにより再造林への誘導を図ることとした。
- ・ 当該活動における、あなたの立場と役割
市町村、森林組合、林業事業体等に活動の趣旨を通知すると共に、地域における対策の検討の場となる「再造林協議会」の設置規約等の作成及び同協議会において関係者に配布する「再造林後の収支プランの作成支援ファイル(以下「森林施業プランファイル」という)」を作成した。
- ・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策
森林所有者に再造林後の収支プランを提示するにあたり、再造林費用や保育、間伐事業への県や市町村の補助制度は、植栽樹種、密度、地拵えの有無等、保育や間伐事業では選木の有無、定性、列状などの間伐方法や搬出システムの違い等により大きく異なる。また、市町村ごとに補助金額の嵩上げを行う施業や額に差があり、事業地ごとに得られる補助金額を算出するには手間がかかる状況であった。また、コンテナ苗や隔年下刈りなどの低コスト施業を用いた場合や、長伐期の施業体系を選択するかなどにより、収穫材積や収穫までの期間に違いがあり、収入間伐の回数や間伐率、次回主伐により得られる利益に大きな差ができる。これら複雑な要素を、「森林施業プランファイル」により、森林所有者の意向を聞き取りつつ、事業体の所有する生産システムによる生産収支を検討し、施業ごと及び再造林から次回主伐までの収穫、経費を即座に計算し、体系図とともに森林所有者の意向に沿った施業プランの提示を支援することとした。また、シカチューブを活用した下刈りの省力化の事例やコストダウンの模式を示し、低コスト林業を普及することとした。
- ・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策
再造林後の体系図の表記及び間伐材積を算出するためには、再造林地の地位を決定する必要がある。地位の判定は主伐林分の林齢と樹高により判定することになるが、樹高は、同一施行地であっても尾根、谷の地形差により大きく異なり、施行地全体の地位を判定(推計)するには、施行地内の数箇所での樹高調査が必要となる。また、主伐後に再造林へのアプローチを行う場合には、既に主伐木が存在しないため樹高の判定は素材生産事業者の記憶に頼るしか無い。
しかしながら、地位の判定無しには間伐材積や主伐材積は判定できないため、施行地内での標準的樹高位置の見極め方法について森林組合や林業事業者等の熟練者の話を聞き、効率的な測定方法の検討を進めるなどの省力化の検討を進めることとする。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

香美市森林施業プラン

地位級 3.0 等地



	林齢(年)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	合計
間伐前	平均樹高(m)	6.4	8.3	10.1	11.9	13.6	15.3	16.9	18.4	19.8	21.2	22.5	23.7	24.9	25.9	27	27.9	28.8	29.6	30.3	31	
	本数(本/ha)	3,000	3,000	3,000	3,000	2,100	2,100	1,470	1,470	1,029	1,029	1,029	659	659	659	659	659	659	659	659	659	
	幹材積(m ³ /ha)	75	132	198	273	310	389	414	490	492	585	635	585	648	703	765	817	870	918	961	1,005	
	平均胸高直径	8.4	10.2	11.6	12.8	15.6	16.7	20.0	21.0	24.7	25.7	26.5	31.5	32.4	33.2	34.0	34.6	35.2	35.7	36.2	36.6	
	平均の形状比	76.1	81.5	87.2	93.3	86.9	91.7	84.4	87.6	80.2	82.6	84.9	75.3	76.8	78.1	79.5	80.6	81.8	82.9	83.8	84.7	
	間伐前(Ry)	0.54	0.67	0.76	0.83	0.79	0.84	0.78	0.82	0.74	0.78	0.80	0.69	0.71	0.73	0.75	0.77	0.78	0.79	0.80	0.81	
間伐	間伐本数(本/ha)				900		630		441			370									659	3,000
	材積間伐率(%)				25%		25%		25%			30%									100%	
	間伐材積(m ³ /ha)				41		58		74			114									603	890
	残存本数(本/ha)	3000	3000	3000	2100	2100	1470	1470	1029	1029	659	659	659	659	659	659	659	659	659	659	659	
間伐後	幹材積(m ³ /ha)	75	132	198	237	310	339	414	424	492	565	525	585	648	703	765	817	870	918	961		
	間伐後(Ry)	0.54	0.67	0.76	0.73	0.79	0.73	0.78	0.71	0.74	0.78	0.66	0.69	0.71	0.73	0.75	0.77	0.78	0.79	0.80		
	Ryの差				0.11		0.11		0.11			0.14										
	形状比の差				10.9		10.7		8.8			11.1										

林齢	施業	標準的な施業			低コスト造林を導入した施業			施業の有無		下刈り作業種	
		支出	収入	収支	支出	収入	収支	標準	低コスト		
1	再 造 林	1,474	1,316	△ 158	1,474	1,316	△ 158	1	1	標準	低コスト
1	下刈 1 年目	228	138	△ 90			0	1		毎年	
2	下刈 2 年目	228	138	△ 90			0	1		毎年	
3	下刈 3 年目	228	138	△ 90			0	1		毎年	
4	下刈 4 年目	228	138	△ 90			0	1		毎年	隔年
5	下刈 5 年目	228	138	△ 90			0	1		毎年	
6	下刈 6 年目	228	138	△ 90			0	1		毎年	
7	下刈 7 年目	228	138	△ 90			0	1		毎年	隔年
12	除 伐	197	119	△ 78	197	119	△ 78	1	1		
20	25%保育	213	129	△ 84	213	129	△ 84	1	1		
30	25%保育	141	129	△ 12	141	129	△ 12	1	1	材積	区分
40	25%間伐	701	732	31	584	660	76	1	1	65	60
55	30%間伐	843	997	154	708	915	207	1	1	105	80
	25%間伐	0	0	0	0	0	0				
100	主 伐	3,917	6,528	2,611	3,917	6,528	2,611	1	1	544	
1	シカネット	973	869	△ 104			0	1			
1	シカチューブ			0	2,125	1,898	△ 227		1		
11	チューブ撤去		0	0	300	0	△ 300		1		
40	路網開設							1	1		
	合計額	10,055	11,785	1,730	9,659	11,694	2,035			計 714	
						収支差額	△ 305				

2. 研修の受講状況

研修名 平成29年度森林総合監理士等の技術向上研修
(実施主体) 四国森林管理局

平成29年12月

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

高知県森林施業プランナー育成研修に参加

注2:2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3:活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4:この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。